

ファーストリテイリンググループ 木材・森林由来の素材・商品の調達に関する方針

危機に瀕した古代森林*は、きれいな水と空気、安定した気候、生物多様性を提供することにより、地球環境を守る役割を果たしています。木材・森林由来の素材・商品を調達する株式会社ファーストリテイリングとその傘下のユニクロおよびその他の各ブランドは、以下の木材・森林由来素材・商品の調達に関する方針を通じて、原産地の森林破壊ゼロに取り組みます。

*原生林、天然の希少森林、人間活動の結果として希少となってしまった森林、その他生物多様性保護のために不可欠な森林

1. 木材・森林由来の素材・商品の調達に関する方針・取り組み

危機に瀕した古代森林と生態系の保護

紙や木材が森林から作られることは広く知られている一方、衣類も木から作られることはあまり知られていません。木材・森林由来の素材にはビスコース（レーヨンとしても知られる）・モダール・リヨセルなどが含まれ、「人造セルロース繊維」とも総称されます。

ファーストリテイリングは、木材・森林由来の素材・商品の調達に関し、以下方針のもと取り組んでいきます。

1. 木材・森林由来の素材・商品の現在の使用状況を評価、整理し、絶滅危惧種の生息圏や危機に瀕した古代森林からの調達が判明した場合は排除します。
2. 森林の違法伐採に携わる、または1994年以降の植林地から調達する企業、先住民族や地域住民の権利を侵害する伐採が行われている地域、その他環境破壊・人権侵害に加担している可能性が高いとされたサプライヤーからの調達を排除することに努めます。
3. いかなる木材・森林由来の素材・商品に対しても、危機に瀕した古代森林や絶滅危惧種生息圏から、あるいは違法伐採により調達されていることが判明した場合、自らのサプライチェーンを調査し、調達方法を変更するようサプライヤーに働きかけ、場合によってはサプライヤーとの取引関係を見直します。
4. 上記の取り組みを、NPO団体「[Canopy](#)」の取り組みに連動して進めます。同団体は、各ブランド・小売企業のサプライチェーンが古代森林・危機に瀕した森林から調達することが無いよう、各種の取り組みを行っています。ファーストリテイリングは、コラボレーションに基づく理想的な解決に向け、今後もCanopyなどの団体やサプライヤーと連携していきます。

人権と地域共同体の権利の認識・尊重・保護

ファーストリテイリングは、すべてのサプライヤーに対し、世界人権宣言を尊重し、法律や慣習によって先住民族や地方共同体に与えられた管轄領域や土地、資源の利用権を認めることを期待します。そのためファーストリテイリングは、新たな伐採権の割り当てや植林地の開発に先立ち、自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意（FPIC）がなされるよう、先住民族の権利を支持します。サプライヤーに対しては、苦情・紛争、人権侵害が発生した場合は、透明かつ説明責任を果たすことのできる、合意に基づくプロセスにより、解決・是正することを求めます。

森林認証

前述の「危機に瀕した古代森林と生態系の保護」記載 1 から 4 すべての条件を満たされていることを前提として、ファーストリテイリングは、FSC（Forest Stewardship Council: 森林管理協議会）の認証を取得し適切に管理されている森林や、FSC®認証が問題解決策に組み込まれている森林からの調達を優先します。

業界リーダーシップの発揮

ファーストリテイリングは、サプライヤーやパートナー、お客様とともに社会に対して良い影響をもたらすことをめざしています。活動を推進する上で、サプライヤーや NGO、同業他社、Canopy の取り組みに関わるその他のステークホルダーと連携し、古代森林・危機に瀕した森林の保護を支援し、森林に対する負荷を低減するための対策を推進します。更に、これらの問題と解決策について、マーケティングやその他のコミュニケーションを通じ、従業員や社会に対する啓発や情報発信を行っていきます。

2. KPI とコミットメント

上記の方針に基づき、ファーストリテイリングでは以下の KPI を策定し、取り組みを進めていきます。

1. ファーストリテイリングは、人造セルロース繊維の調達先として、危機に瀕した古代森林以外からの調達に限定することをめざします。そのために優先的に調達すべき人造セルロース繊維メーカーリストを定期的に更新・サプライヤーに共有し、優先メーカーからの調達を促進します。
2. ファーストリテイリングは、当社ブランド全製品に関し、当社がどの人造セルロース繊維メーカーから調達しているかを把握するため、木材・森林由来の素材サプライヤーに対し、調達先となる人造セルロース繊維メーカーを毎年申告いただき、これらの人造セルロース

繊維メーカーから供給される繊維がこの方針に適合していることを Canopy による監査 (CanopyStyle) 等の第三者機関監査および、報告書 (Canopy が発行する Hot Button Report 等) を用いて毎年検証します。

3. ファーストリテリングは、化学物質使用量を抑える、土壌汚染を防止する、生物多様性に配慮される、温室効果ガス排出量削減の工夫がなされるなど環境に配慮された原材料の使用を推進します。また、2030年8月期までにレーヨンを含む全使用素材の約50%をリサイクル素材など温室効果ガス排出量の少ない素材に切り替えることをめざします。